

愛情と感謝と懺悔を込めて

動物の命を 考える

私たちの暮らしは、
動物を通して、何処かの
見ず知らずの誰かと
つながっている。

～ 講師からのメッセージ ～

私は、保護猫8匹を愛おしんで育ててきました。もちろん不妊去勢手術を行って、少しでも美味しいものとペットフードを選び、時には大変な病気になった猫のために動物病院に通い詰め、寝る時間を惜しんで看病して、全身全霊でその命を守ろうとしてきました。


けれども考えてみたら、「物品」だと思っていた注射針や麻酔薬、寄生虫の駆除薬や様々な病気の治療薬、そして毎日食べさせているペットフードは、数え切れないほどの動物の命を利用して作られたものです。そもそも私たちは肉や卵を食べ、自分自身も様々な医療に支えられています。ということは、私自身は、動物の命を大切にしているように見えて、実際には動物の命を絶つ立場ということになります。


動物の命を絶つこと、それは日々の生活の多くの場面に関わっていることなのに、私たち日本人が長らく表立って議論することを避けてきたテーマです。どのような人々がその作業に関わっているのか、どうしたら動物の苦痛の軽減を図れるのか、少しずつ一緒に考えてみませんか。


成城大学法学部



講師


打越 綾子 氏

 開催日 令和8年8月8日(土)

 時間 13:30～15:30 (開場13:00)

 会場 オンワード樫山仙台ビル10階
(仙台市青葉区二日町12-34)

 定員 150名(先着順)  参加費 無料

 申込 せんだいオンライン
申請サービス(右記
二次元コード)から
お申込みください。



<https://logoform.jp/form/3PrJ/1576577>

 お問い合わせ 仙台市動物管理センター
〒983-0034 仙台市宮城野区扇町6丁目3-3
TEL: 022-258-1626

こんな方におすすめです

- ✓ 動物や命について考えたい方
- ✓ 教育・福祉・医療・研究・農林水産・行政などの現場で働く方
- ✓ 動物の命に関わる仕事をしている方、または関心のある方

皆さまのご参加をお待ちしております。



※内容は変更となる場合があります。
詳しくは仙台市ホームページをご覧ください。